

創立110周年を迎えました！

明治45年（1912年）に南河内郡立実科高等女学校に改編され、この年をもって母校河南高等学校の創立とされました。

その後、大正10年（1921年）に大阪府立河南高等女学校に改称、昭和3年（1928年）に大阪府立富田林高等女学校に改称し、戦後の昭和23年（1948年）の学制改革により大阪府立河南高等学校が設立され現在に至っています。

平成24年（2012年）には100周年を迎え、「明治・大正・昭和・平成・令和」と5つの時代を経て、昨年の令和4年（2022年）に110周年を迎えました。女学校1期生から第75期生（令和5年2月卒業生）まで、この間に卒業された方は、たちばな会の名簿上では、35,519名にもなります。

学校では令和4年11月10日（木）、体育館において「創立110周年記念式典」が挙行されました。新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、在校生、教職員、PTAと同窓会の代表者のみで行われました。

同窓会「たちばな会」からは、記念事業として、図書室の書架2台（約100万円相当）を寄贈しました。また、学校・PTA・同窓会で組織された「大阪府立河南高等学校創立110周年記念事業実行委員会」からは周年事業積立基金により、記念誌の発行（1500部約76万円）や、校内環境整備として、①グラウンド整備、②国英準備室と化学準備室のエアコン設置、③食堂前への通路上テント張替え、④洗浄便座の整備など、全部で11項目（約672万円相当）の整備が行われました。

歴史が刻まれる一方、校舎内の設備や備品は劣化していきます。同窓会「たちばな会」は今後とも、母校のためにできる限りの協力をしてまいりたいと思います。



110周年記念式典
令和4年（2022）11月10日
<河南高校体育館>



同窓会から目録贈呈



贈呈した書架2台